

質問



平野 武志 議員

問 自由通路のエスカレーター 設置の考えは

答 年内を目処に最終判断する ——— 町長

質 問 町関係団体との意見交換会の中で、「町の方針として、駅南北歩道橋にはエスカレーターを設置を見送った。」という報告がありました。

その後、常任委員会の中で、「町民からの設置要望が非常に強い。」という意見を伝えるところ、担当課長からは「理事者には伝えます。」という回答でしたが、町長として改めてどのような考えを持っているのか。

また、この答えの最終的なリミットの時期はいつ頃までに決めれば良いのか伺います。

大森町長 エスカレーターについては、可能であれば設置したいという強



町では、昨年末にエスカレーターの設置を決定しました

い思いを持ちながら庁舎内部で検討を重ねてきましたが、設置費に約1億円程度、運用費に毎年約300万円程度の費用を要します。

また、設置後の財政負担が極めて大きいことや、夜間の管理について難しい面がある等の理由で設置を見送ったところです。

総務・経済常任委員会で、「町民からの設置要望が強い。」との意見が多く出されたとの報告を受け、平成32年度までの財政収支試算の確認や、現在進めている新幹線関連事業全体の中で財源調整を図る中で再度検討し、年内を目処に判断したいと思えます。

要 望 観光客への利便性の向上はもとより、福祉の町として高齢者にやさしいまちづくりの観点からも、エスカレーターの設置は今後の死活問題であり、必要不可欠だと考えます。

町民からの強い要望をかなえるためにも、年内中の決断が設置に向うよう強く望みます。

町政懇談会 検証結果はどうだった

質 問 各地区で町政懇談会が開催されましたが、何点かについて伺います。

①新幹線等の工事車両が多く通過するため町道等の損傷や浮き沈み、マンホールの浮上等の実態や原因究明等を含めた調査結果は。

②釜谷地区避難所のストープ設置や、避難所として必要な備品の整備状況は。

③はこだて和牛は、全道大会で4連覇の偉業を達成していますが、来年度以降のPR計画や販路拡大は。

④行政サービスなど、人として優しいまちになるための具体的施策や考え

は。

大森町長 ①道路の損傷は、新幹線工事に伴う大型工事車両の往来が要因の一つでもあり、今後も鉄道・運輸機構と連携を図り、維持・補修を行います。

②釜谷地区の避難所は、改修工事も完了し、環境整備を整えました。地域の皆さんに現地を公開し、確認してもらっています。情報を得るためのテレビも設置しており、今後も協議しながら整備を進めていきます。

③今年度から、はこだて和牛ブランド化推進事業として、地域の逸品として認知度向上を図ることなどを目的に現在、町内の飲食店9店で取り扱っています。

生産数量や流通システムの課題もあり、町民に直接販売することは困難性もありますが、関係団体と協議を継続していきます。

④新人研修や法政研修に積極的に取り組み、職員個々の資質の向上を図るとともに、住民の皆さまの意見や要望に耳を傾け、関連する部署の連携を図っていきます。